

1. はじめに

古代の畿内の河川は、大陸からの種々の情報や珍(たから)ものをもたらす「情報網ハイウェイ」として、当時の都市にとって重要な役割を果たしていた。また、江戸時代には、縦横に張りめぐらされた河川(運河)網を利用した物流は大坂に大きな繁栄をもたらし、都市河川は大坂にとって「ライフライン」として重要な役割を担っていた。それと同時に、当時の川べりは、水辺そのものの親水性の他に、そこに建つ芝居小屋での興行の楽しみなどを通して、人々の生活の場に多様に、かつ深く入り込み、当時の文化形成にまで大きな影響もっていた。一方、その対価として人々は、「川浚(かわざらえ)」や「淀」の課役を通して、河川環境の整備に惜しみなく労力と金銭を提供した。しかし明治以降、現代に至って、鉄道などの交通機関の発達によって都市河川はそれらの役割を終えるとともに、主要な役割は洪水や下水の単なる「排水路」となった。それに伴って、人々もときに都市河川を邪魔者扱いするなど、人々と都市河川との間の関係は希薄になってきている。同時に、人々の頭のなかからは、生活の中にあつた往時の都市河川の姿の記憶が急激に失われようとしている。そして、このことが人々と河川との距離をますます遠ざけるものとしようとしている。

本共同研究グループでは、以上のようなことに鑑みて、往時(江戸時代以降、昭和期前半まで)の河川あるいは水辺の実態を人々の生活の視点に立って調査するとともに、当時の人々の生活に入り込んだ河川(環境)の姿を調査研究することを目的とした。また、そのことを通じて、人々の生活と往時の都市河川との関係を現代に適用する可能性を探るとともに、今後の都市河川行政にそれを反映させること

も目的とした。

2. 共同研究グループの構成

本研究グループの構成員を以下に示す。

角野昇八(大阪市立大学工学部)：代表
河内厚郎(「関西文学」編集長
神吉紀世子(和歌山大学工学部)
澤井健二(摂南大学工学部)
重松孝昌(大阪市立大学工学部)
関本武史(大阪市立大学工学部学生)
竹原幸生(近畿大学理工学部)
玉井昌弘(大阪大学工学部)
辻本剛三(神戸市立工業高等専門学校)
橋爪紳也(大阪市立大学文学部)
平井住夫(兵庫県)
布川貴一(大阪市)
藤田俊英(トレンドアナリスト)
水野雅光(国土交通省)
道奥康治(神戸大学工学部)
八百俊介(神戸市立工業高等専門学校)
和田一斗((株)建設技術研究所)
山本雄史(大阪府)
吉村伸一(吉村伸一流域計画研究室)

3. 研究活動の経過

グループ構成の趣旨に基づき、これまでの期間中に各委員の研究概要報告、外部講師による講演会、現地見学会などを行った。詳細は下記の通りである。

平成12年度

①第1回研究会(参加者 9名)

平成12年3月27日 15:00～18:00

大阪市立大学文化交流センター、研究活動の方針の確認

②第2回研究会(参加者 25名)

平成12年4月28日 15:00～18:00

大阪市立大学文化交流センター、講演会『川と地域文化』：講師 河内委員

③第3回研究会(参加者 10 名)

平成 12 年 5 月 25 日 15:00～18:00

大阪市立大学文化交流センター、八百、角野、山本各委員の研究報告

④第4回研究会(参加者 10 名)

平成 12 年 6 月 24 日 15:00～18:00

建設技術研究所会議室、玉井、澤井、平井各委員の研究報告

⑤第5回研究会(参加者 10 名)

平成 12 年 8 月 3 日 15:00～18:00

大阪市立大学文化交流センター、各委員の研究報告

⑥第6回研究会(参加者 17 名)

平成 12 年 8 月 25 日 15:00～18:00

大阪市立大学文化交流センター、講演会『アスレチックな都市河川敷がIT革命社会を支える新社会資本に一番乗り』：講師 藤田委員

⑦第7回研究会(参加者 12 名)

平成 12 年 10 月 13 日 13:00～17:00

船上からの河川視察(道頓堀周辺)

⑧第8回研究会(参加者 15 名)

平成 12 年 8 月 25 日 15:00～18:00

大阪市立大学文化交流センター、講演会『水路とまちづくり ツーリストシティの視点から』：講師 橋爪委員

⑨第9回研究会(参加者 16 名)

平成 13 年 2 月 10 日 15:00～18:00

アルフィック大阪、講演会『地域学』：講師 吉本哲郎氏(水俣市役所)

平成13年度

①第1回研究会(参加者 10 名)

平成 13 年 4 月 12,13 日、円山川、八鹿町内河川見学

②第2回研究会(参加者 15 名)

平成 13 年 9 月 20 日 15:00～18:00

大阪市立大学文化交流センター、講演会『川、人、街』：講師 桑子敏雄氏(東京工業大)

③第3回研究会(参加者 25 名)

平成 13 年 10 月 13 日 15:00～18:00

大阪産業創造館、講演会『河川環境の保全と治水システム』：講師 吉村委員

④第4回研究会(参加者 4 名)

平成 13 年 11 月 7 日 9:00～15:00

菊池川、白川見学(熊本)

⑤第5回研究会(参加者 24 名)

平成 13 年 12 月 1、2 日、大阪の歴史河川探訪

1日：江口君堂(西行と江口の君・妙の物語の場)→毛馬(与謝蕪村生誕地)→桜宮(「心中天の綱島」舞台)→四ツ橋→天保山→道頓堀

2日：住道(寝屋川水系、大東水害訴訟、野崎観音)→平野川分水路→伏見港→寺田屋見学

④第6回研究会(参加者 20 名)

平成 14 年 3 月 9 日 14:00～17:00

アルフィック大阪、講演会『河川の空間整備について』：講師 北村真一氏(山梨大)

4. まとめ

本研究グループは、今年度より土木学会関西支部の調査研究委員会として活動をさらに深めていく予定である。支部構成員の皆様の熱いご支援とご指導をお願いするものである